

平成27年度指定管理者評価結果票

所 管 課	農政部 畜産課
評価対象期間	H27.4.1 ~ H28.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県東濃牧場
	所在地	恵那市長島町鍋山4-66
指定管理者	名 称	一般社団法人 岐阜県農畜産公社
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市藪田南5-14-12
	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧場の維持管理に関すること ・ 乳用牛及び肉用牛の飼養管理に関すること ・ 利用者への便宜の供与に関すること ・ 利用の促進に関すること 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	受託延頭数 (単位:頭)
H25	1,472
H26	1,357
H27	1,123

3 平成27年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	412,890
利用料金(制度導入なし)	0
指定管理料	14,154
そ の 他	398,736
支 出 計	397,927
人 件 費	101,318
施設管理費	12,726
そ の 他	283,883
差 引	14,963
納 付 金	—

※東濃牧場・飛驒牧場合算による

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・人員配置については当初の計画通りではあるが、実際の勤務実態を勘案すると、職員数の不足が否めない。土日祝日の勤務は宿日直手当ではなく、代休取得による対応となるよう職員数を確保するべき。	・平成29年度から、牧場専門員(公社職員)1名を増員予定。
・戻し堆肥による敷料費の節減を図ること。	・戻し堆肥による敷料費の節減を平成26年に実施中であったが、堆肥舎の老朽化による堆肥の質の悪化により中止。現在は戻し堆肥に代わり廃材チップ・モミ殻等を利用し、節減を図っている。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・新哺育・育成牛舎の利用による効果を期待する。 ・求人活動をもっと幅広く、積極的にしては。 ・計画的な人員配置が必要と思われる。 ・職員が不足していると見受けられる。 ・子牛上牧時の手続きが統一されていない。 ・子牛上牧時において、引取時期の遅れがある。
設置目的の充足状況	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・放牧預託をもっとPRする方法はないか。 ・県下の乳牛頭数維持に必要。 ・更なる利用者数の増加を望む。 ・情報提供のルートの検討が必要。 ・もう少し大々的に広報を行ってほしい。
公共性の確保の状況	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・放牧預託牛の下牧直後の疾病に対する補償が出来ないか。 ・初妊牛譲渡後の飼養に関する契約が必要ではないか。 ・地域の関係団体との連携は以前より良くなっている。 ・農協、県酪連との連携は良い。 ・市町村との更なる連携を図ることが望ましい。
経営状況	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・子牛引取価格及び初妊牛譲渡価格の再考が必要。 ・収入増加に向けた取組は期待が大きい。 ・業務について更なる効率化の検討が必要。
派生的効果	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の畜産振興を支えている大切な牧場であると評価できる。

<評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
S	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図っており、県営牧場の指定管理者として、畜産振興の役割を担っている。 ・牧場の管理に熟達した団体であり、乳用牛の飼養管理、施設の維持管理等において配慮が行き届いている点が高く評価できる。 ・指定管理者が実施している利用者アンケート調査において、約8割が「満足」、「やや満足」と答えるなど利用者満足度も高い。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する